

「屋号物語」と「三保の魅力」

“三保”をテーマとし、探究してきた学習の成果を地域の皆さまに発表します！

1 展示部門

探究活動の中でまとめた掲示物や三保を題材にした図工作品等を展示します。

- (1) 日時 令和5年12月12日(火)～24日(日)9:00～16:30
- (2) 場所 三保松原文化創造センター「みほしるべ」
1階通り土間・2階会議室

2 発表部門

- (1) 日時 令和5年12月16日(土)9:00～11:00
- (2) 場所 三保松原文化創造センター「みほしるべ」
- (3) 内容



6年

20年余り前、三保公民館主催「御穂大学」の方々によって「屋号物語（全5巻）」が出版されました。屋号物語には、屋号にまつわるお話しや当時の様子が記されています。この物語を読んだ子どもたちは、自分の住む三保への興味を大きく膨らめ、そして探究活動がスタートしました。夏休みに屋号をもつお宅に訪問してお話を聞いたり、文献やインターネットを活用して調べたりするなど、三保の文化や歴史にふれる活動を通して疑問を解決していきました。

このような探究の成果として、一人ずつ自分のテーマに沿って発表を行います。

5年

「自分の住む“三保”の魅力をもっと知ってほしい」という思いから、子どもたちの探究活動がスタートしました。3・4年で学習してきた地域学習をもとに、地域について、さらに深く探る活動を進めてきました。子どもたちは、自分自身が魅力に感じていることやもの、場所など、実際に足を運んで体験をしたり、地域の方の思いをインタビューしたりするなど、広い視野に立って地域を見つめ直すことにより、三保に対する思いをさらに膨らめていきました。

このような探究の成果として、一人ずつ自分のテーマに沿って発表を行います。